

太平洋岸自転車道整備における 取り組みについて

中村 駿太¹・岩本 明久²

^{1, 2}近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 道路管理課 (〒646-0003和歌山県田辺市中万呂142)

千葉県銚子市から和歌山市に至る延長1,400kmの太平洋岸自転車道の利用促進およびナショナルサイクルルート(NCR)の指定に向けた紀南河川国道事務所の取り組みを紹介する。

本稿では、和歌山県内の太平洋岸自転車道沿線の自治体、和歌山河川国道事務所との調整により、太平洋岸自転車道の統一ロゴを活用した通行空間の整備、分岐部等での案内、主要地点看板の設置、そして、安全・安心で快適な走行環境の構築に向けたトンネル注意看板の設置や休憩エリア、眺望の確保を紹介する。あわせて、今後の課題や対策案、そして、太平洋岸自転車道の利用促進により目指す紀南地域のあり方(最終目的)について記載している。

キーワード 太平洋岸自転車道, ナショナルサイクルルート(NCR), 統一ロゴ, 地域活性化

1. はじめに

本稿では、太平洋岸自転車道のルート上にある国道42号沿線において、安全・安心に走行できる環境構築に向けた取り組みについて紹介するものである。

また、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート(NCR)の指定に向けた今後、取り組むべき課題やルート指定後を想定した紀南地域のあり方についての所見を記載している。

2. 太平洋岸自転車道の概要

太平洋岸自転車道は、千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る延長1,400kmの自転車道構想のことである。自転車道沿線は、世界遺産である富士山をはじめ、「紀伊山地の霊場と参詣道」、観光地・景勝地が多数存在するルートとなっている(図-1)。

太平洋岸自転車道に向けた取り組みは、2018年11月より開始され、快適な走行環境の実現を目指し、統一感のある路表示や看板等の整備を行うため、2019年3月に統一ロゴの策定が行われた(図-2)。

2019年12月には、国が指定する「ナショナルサイクルルート(NCR)」の認定を目指した太平洋岸自転車道のアクションプランを策定し、2020年までに実施する取組内容として、ナショナルサイクルルート(NCR)の要件を満たす通行空間の整備、分岐部等に路面表示・案内看板の設置、ゲートウェイにレンタサイクルや着替え場所

等の整備、サイクルステーションの整備、宿泊施設の整備、日英2か国語以上のホームページ、サイクリングマップの作成を掲げている。

2020年12月には、関係各所の迅速な取り組みにより、アクションプランに掲げた整備を全て完了させ、2021年1月29日にナショナルサイクルルート(NCR)の候補ルートに選定され、第三者委員会による審査を受けることとなっている。



図-1 太平洋岸自転車道(延長1,400km)



デザインコンセプト

- ・日本の代表的な吉祥文様の一つである青海波（せいがいは）をモチーフに太平洋の波をデザイン。
- ・自転車でスローツーリズムを楽しむ国内外の観光客や、また海と共存している私たちにどうも日本の太平洋の美しさが印象に残るようなイメージ。
- ・穴柄にまたがる海からの大きな恩恵を6つの湾に込め、睡かみのある青色は、穏やかで包み込むような大海原を表現。
- ・自転車できるだけシンプルな表現で、どんな人にも見やすく、わかりやすい形を目指した。

作成者：横浜美術大学 小柳 沙世華さん

図-2 統一ロゴ

3. 紀南河川国道事務所の取り組み紹介

2章における太平洋岸自転車道の整備、ナショナルサイクルルート（NCR）指定に向けた整備に向け、紀南河川国道事務所が管轄する国道42号沿線で取り組んできた対策、施策を紹介する。

なお、対策、施策を実施するにあたり、和歌山河川国道事務所や太平洋岸自転車道沿線の自治体と連携した整備を行うことが重要であるため、適宜、太平洋岸自転車道と和歌山地区協議会を実施し、案内看板・路面表示等の仕様を定めた上で整備を行った（表-1）。

和歌山県内では、県が推進する「WAKAYAMA800」のルートの一部を利用し、太平洋岸自転車道ルートとWAKAYAMA800のルートが一致する箇所については、太平洋岸自転車道の統一ロゴとあわせて、WAKAYAMA800のロゴを併記する等の地域ごとの仕様に基づいて整備を行っている（図-3）。

表-1 地区協議会の実施

開催日時	協議内容
2019年3月6日 第1回和歌山地区協議会	・地区協議会の設立 ・路面表示・案内看板等の整備について
2019年5月29日 第2回和歌山地区協議会	・案内看板、路面表示等の仕様（案） ・情報発信強化策（案）
2020年7月7日 第3回和歌山地区協議会	・イベント開催について ・アクションプランの推進確認



図-3 WAKAYAMA800との併記

(1) 通行空間の整備

地区協議会で設定した仕様に基づき、国道42号沿線において5km間隔で太平洋岸自転車道マークを56箇所に表示させた（図-4）。また、100m間隔で矢羽根を分岐交差点を含めて2, 514箇所に表示させた（図-5）。

また、和歌山県にて既にブルーラインの整備が進められていたため、国道42号沿線においても100m間隔でブルーライン（1箇所あたり5m）を交差点を含めて812箇所に表示させた（図-6）。



図-4 太平洋岸自転車道マーク（56箇所@5km）



図-5 矢羽根（2, 514箇所@100m, 分岐交差点）

(2) 分岐部等での案内

分岐部での案内として、路側看板（177枚）の設置、及び、路面標示（90箇所）を実施した（図-6、図-7）。

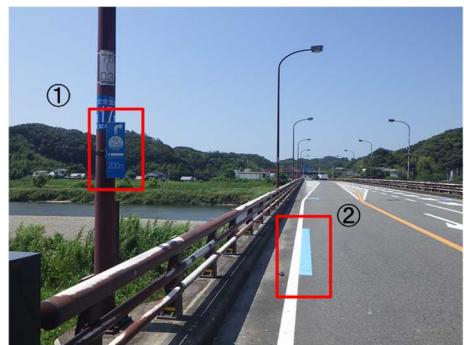


図-6 分岐部等での案内（①路面看板（177枚）、②ブルーライン（812箇所@100mまたは交差点））



図-7 分岐部等での案内(路面標示(90箇所))

(3) 主要地点看板の設置

国道42号沿線の道の駅等の主要地点(13箇所)において、主要地点看板の設置を行った(図-8)。



図-8 主要地点看板(13枚)

(4) トンネル注意看板

国道42号沿線のトンネル坑出入口に注意看板(26枚)を設置した(図-9)。



図-9 トンネル注意看板(26枚)

(5) 休憩エリアの整備

国道42号沿線において道の駅等の主要地点での休憩が可能であるが、場所によっては、道の駅休憩可能施設間の距離が長くなるため、休憩を適切にとれない区間がある。そのため、道の駅以外で休憩できるエリアの整備を随意実施している(図-10)。

なお、休憩エリアでは、自転車ラックの設置も実施している(図-11)。



図-10 休憩エリア(すさみ町見老津)



図-11 自転車ラック

(6) 眺望の確保

国道42号沿いに広がる太平洋を眺望しながらサイクリングを楽しめる走行環境を構築するため、植栽の剪定による眺望の確保を実施している(図-12)。

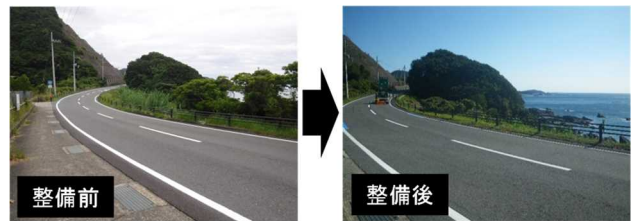


図-12 剪定による眺望の確保

4. 今後の課題と対策案

太平洋岸自転車道の整備としては、地区協議会で調整した整備を行っている。老若男女子供からお年寄りまで安全に健康とアドベンチャーを体験していただくため、今後の課題として、太平洋岸自転車道のルート上の国道と県道の離合部など分岐部における危険箇所での注意喚起の対策を行う必要がある。走行ルートにおいては、既存の自転車道につなげるため、国道42号を横切る場所が数カ所点在しており、注意を呼び変える看板(または路面標示)を設置する等の対策を行う必要がある(図-13)。



図-13 危険箇所(国道42号を横断)

5. 太平洋岸自転車道の利用促進により目指す紀南地域のあり方

本稿では、太平洋岸自転車道の利用促進およびナショナルサイクルルート(NCR)指定に向けた紀南河川国道事務所における国道42号沿線の対策、施策の紹介を行った。

今後、ナショナルサイクルルート(NCR)指定によって、国内外より多くのサイクリストの訪問が期待される。

2019年度から取り組んでいる太平洋岸自転車道の利用促進により目指す紀南地域のあり方は、紀南地域の活性化である。

紀南地域は、紀伊山地の霊場と参拝など観光資源が多く、和歌山を代表する景勝地である那智の滝、橋杭岩などルート上に多くある。また、紀勢自動車道(田辺～す

さみ)の開通により、沿線市町へのアクセスが向上している。そのため、紀勢自動車道に並行する国道42号の交通量の転換が予測されており、サイクリストからは自転車天国になると期待の声もあり、紀南河川国道事務所では、道路行政を推進するとともに、沿線市町と連携し、自動車によるアクセスだけでなく、サイクリストのアクセス向上を目指し、観光振興、地域活性化を行っていく。

謝辞: 本稿の作成にあたり、関係各所の皆様に多大なご支援を頂きました。ここに謝意を表します。

付録 「付録」の位置

ナショナルサイクルルート(NCR)制度: 自転車の活用による観光地域づくりを推進するため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルート为国が指定する制度である。本制度は、優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信などの様々な取り組みと連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を目指すものである。

参考文献

- 1) 太平洋岸自転車道ホームページ: <https://www.kkr.mlit.go.jp/road/pcr/index.html>
- 2) ナショナルサイクルルート(NCR)ホームページ: https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/national_cycle_route/